

春日部市議会9月定例会において

令和5年一般会計決算認定に関して、以下の点を、会派として指摘・要望しました。

【決算とは】

①予算の使い方は適正だったか ②予算が目的通りに使われたか ③予算が効率的に使われたか
我が会派では、主にこの3つの着眼で審査を行っております。我々議員の重要な仕事です。

シティーセールス推進事業



ふるさと納税による市民税流出が続いている。
収入額約1億2千8百万円。
流失額約4億7千4百万円。
返礼品の拡充を要望。

がん検診推進事業



子宮頸がん検診の受診率が低い。
20歳（限定の）対象の無料クーポンがより効果的になる対策を要望。

将来負担と財政計画



新庁舎建設、鉄道高架、今後の開発計画に伴う大幅な将来負担増を指摘。
中期財政計画の立案を強く要望。

観光協会補助金



法人化以前より大幅な事業費・事務費の増加を指摘。
補助金不足を防ぐための十分な協議を求め。

ふるさとかすかべ応援基金積立金



寄付者の意向を反映させた予算の割り振りや、政策の実現を提案。

高齢者生活支援事業



現金1,000円支給に対し郵送費(経費)600円
経費の使い方の非効率性を指摘。
効果的な事業設計の検証を求める。

空家対策推進事業



空き家リノベーション補助金の内容見直しを要望し、より効果的な事業設計を提案。
本年7/1より補助金が減額されました。「まちづくり」という目的を指摘し、他事業とのバランスを考慮すること、街の実情にあった制度への見直しを提案。

スクールサポートスタッフ配置事業



市長の施政方針とかけ離れた予算執行状態、不適切な予算管理状態を指摘。
国・県の補助金に依存しない、市独自の教職員サポート施策を提案。

我々が考える今後の春日部市の課題

(令和4年度)

将来負担比率 9.9%

将来、財政を圧迫する可能性の度合い

(令和5年度)

25.6%

直近の実質公債費比率(※)は令和4年度2.8%から令和5年度2.9%と微増、新庁舎の支払いが始まる来年度以降、増大する事は明確です。

※「実質公債費比率」とは 県や市町村の借金返済額の収入に対する割合です。数字が大きいと財政が窮乏し、新たな借金に制限がかかります。

【まとめ】

我が会派は未来の子どもたちにツケをまわさない、財政破綻を起こさないためにも中期財政計画を作ることにより、しっかりと明確に市民の目に見えるよう計画する事が必要だと強く要望しました。



春日部市議会 自民・無所属の会

発行
自民・無所属の会
〒244-8577
春日部市中央7丁目2番地1
TEL 048-736-1111
(内線7544)

